

退職等年金給付制度の財政検証 (令和6年度末)の結果について

「退職等年金給付制度」では、毎年度、決算時点における財政状況の検証（財政検証）を行い、健全な財政状況が保たれているかどうかを確認し、翌年度末までにその結果を財務大臣に報告することとされています。

財政検証は、積立方式で運営される退職等年金給付制度において、国家公務員共済組合（国共済）、地方公務員共済組合（地共済）全体の積立状況（年金財政上の剰余または不足の状況）を確認し、不足があれば少なくとも5年ごとに実施することとされている財政再計算^(※)を早期に行う必要があるかどうかを判定するために行われます。

^(※) 財政再計算は、退職等年金給付の財政が健全かどうかを検証し、その結果に基づいて適正な掛金率などを定めるために行う計算のことです。



令和6年度末の積立状況は、積立剰余（361億円）となっているため、令和6年度末財政検証に基づく早期の財政再計算を行う必要はありませんでした。

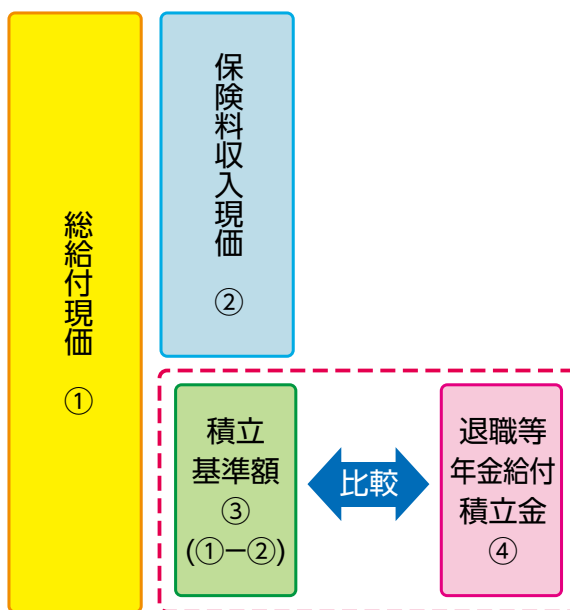
令和6年度末財政状況（計算結果）

計算基準日：令和6年度末 (単位：億円)

	国共済+ 地共済		
	国共済	地共済	
総給付現価①	112,104	27,468	84,637
保険料収入現価②	75,425	18,752	56,674
積立基準額③ (①-②)	36,679	8,716	27,963
退職等年金給付積立金④	37,040	10,168	26,872
剰余又は不足⑤ (④-③)	361	1,452	▲1,091
利差損益	159	44	115
その他の損益	▲132	▲284	152
前年度末剰余又は不足	334	1,693	▲1,358

(注) 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

財政検証のイメージ図



財政検証の具体的な方法

1. 令和6年度末時点の国共済、地共済それぞれの組合員・受給待期者・年金受給者を基礎として、総給付現価①(将来の年金給付額などを予定利率で割引計算した現在価値)、保険料収入現価②(将来の保険料収入を予定利率で割引計算した現在価値)を計算します。
2. 積立基準額③と実際の退職等年金給付積立金④を比較することにより行われます。

退職等年金給付制度については、KKRホームページをご覧ください。

